

働き方改革の第2ステップ 「ワークエンゲージメント戦略」



KOCHI Work Style Award 2023 2024年2月8日

モノづくりは、ヒトづくり。高知機型工業株式会社



高知機型工業株式会社

事業内容:建設用機械、農業用機械、鉄道車両、
自動車、造船等の産業用模型製造
鋳物・鋳鋼品の試作開発、
量産品の調達

設立:1965年3月10日

従業員数:28名

所在地:高知県香南市香我美町下分1244-1

企業HP: <https://www.nc-model-inc.co.jp/>

取組の戦略

働き方改革の第2ステップ「ワークエンゲージメント戦略」

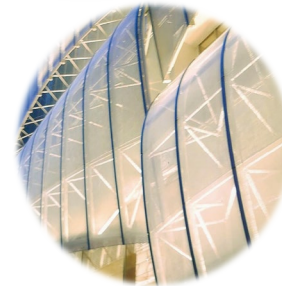
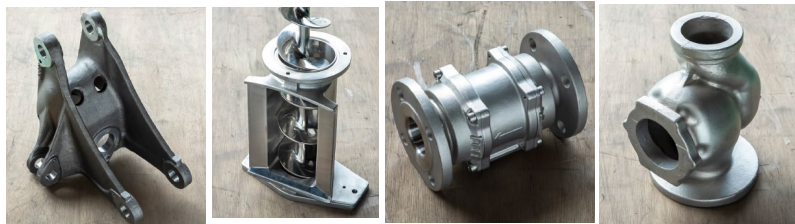
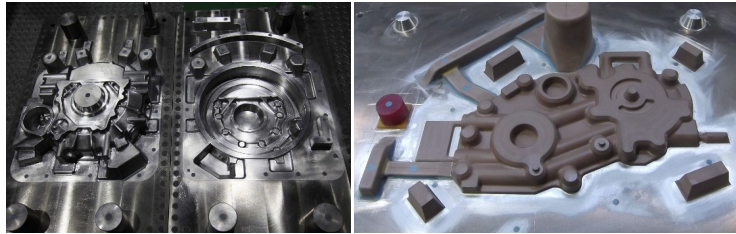
【テーマ1】生産性向上とワークライフバランスの取れた働き方で**年間休日+15日**

【テーマ2】全従業員の能力開発・活躍推進を目的とした「**リードタイム**」**短縮プロジェクト**

弊社は産業の基盤である「型づくり」を通じて社会に貢献している会社です。これまでも働き方改革においては、ダイバーシティマネジメントを基に、多様な人材が活躍できる環境づくりに力を入れてきました。**生産性を向上させることにより、ワークライフバランスの取れた働き方で従業員の幸福度を向上させ、好循環により更なる業績UPを目指します。**

会社概要：各種産業用模型製造・素形材調達

弊社の製品は、多くの機械や設備、車両等に使用されて、世界中で活躍しています。



【取組の背景】自動車製造の転換期(ガソリンから電気モーターへ)や3D技術の急速な進化、国際的な開発競争を勝ち抜くために、1)独自技術の開発 2)開発スピードの迅速化が事業継続に必要な不可欠となっているが、地方で高度人材を獲得することは困難であるという問題や、人手不足の状況の中で、社員教育や開発に費やす時間、自己啓発などの時間が十分持てないという課題も抱えており、従業員の生活の質向上と企業力の向上を共に達成(両立)する必要に迫られていた。

～これまでの働き方改革の取組～

組織の土台作り

2017年 働き方改革の積極的な取組を開始

残業時間の見える化等

2018年 ダイバーシティマネジメント制定・公開

2019年 事業戦略策定・デジタル化でワークライフバランス推進

2020年 高知県働き方改革推進キャンペーン奨励賞

2020年 高知県ワークライフバランス推進企業認証取得

2021年 こうちSDGs推進企業登録

2022年 DX戦略部設置、RPAで業務の自動化

2023年 健康経営優良法人2023「ブライト500」認定

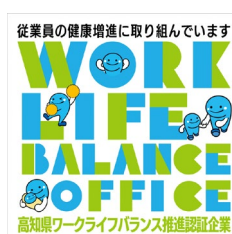
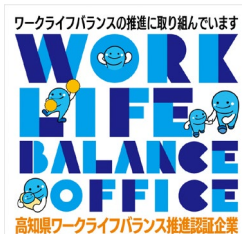
2023年 DX・GX戦略部設置

(デジタル化・グリーン化推進)

誰もが活躍できる環境をつくる

- 30年前より外国籍人材を採用
- 男性の育休3か月の実績あり
- 女性活躍

- ▶グループリーダー:5人中3人が女性
- ▶女性役員:6人中2人が女性



事業継続力強化計画認定



◆課題分析と目標設定◆

これまでも様々な取組を行ってきたが、更なる飛躍のために何が必要か…

従業員サーベイと改革チームのミーティングから見えた課題

①一部の従業員に業務が集中しがち

②コミュニケーション改善の必要性

③スキルアップ・能力開発が個人任せになっている

改善すると見える世界は…

属人化の解消ができると
残業削減と技術伝承が可能に

社内連携の強化により
業務効率がUP

人材育成のリードタイム、
能力開発も早めて企業力UP

品質を落とさず
リードタイムを
短縮

目指す好循環

・年休の増加で健康増進
・自己啓発やスキルアップ
の時間も確保

働き方改革のステップアップを目指そう！
今回の取組はココ！！

法令遵守 → 働きやすさ → 働きがい → **業績向上へ**

➡従業員の活力を取り戻し、
そのパワーを組織の技術力向上へ



取組内容

①属人化解消のための施策

DX推進 / 業務効率化への取り組み

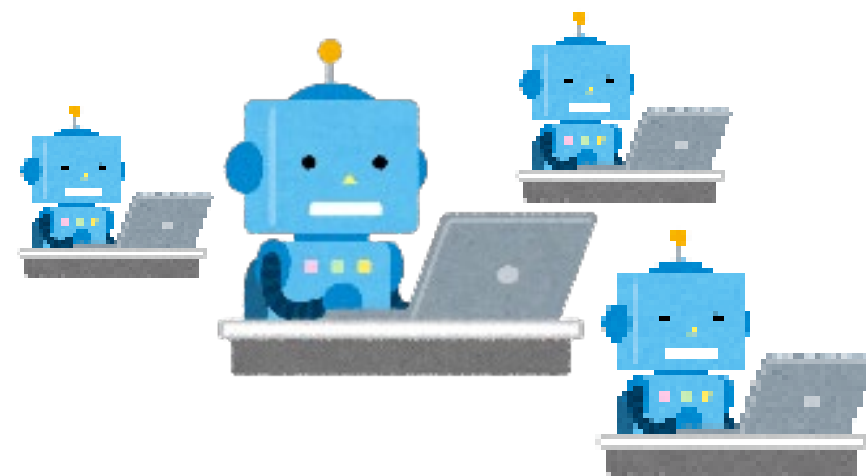
【職人技術のデジタル化】

- 3D NC ターニングマシン / レーザー加工機 導入
- 次世代型 3D CAD / CAMシステム6台 + 4軸加工機 増設
- 大型金型用マシニングセンタ2台 増設
大型・中型木工用マシニングセンタ各2台 増設



【間接業務のデジタル化・自動化】

- RPA導入による間接業務の自動化(2023年12月現在)
 - ➔作成ロボット数：16台
- 紙帳票のデジタル化
 - ➔社内帳票をデジタル化し、RPAによるデータ集計や自動編集を実施



【今回の取組】

- 業務の共有、引継ぎを検討・実施
 - ・以前業務の棚卸をしたものを元に、現在の担当者以外にも業務内容を共有・引継ぎを行う
 - ・担当者・業務内容・期限を決めることで確実に実施する
- 繁閑を含めた生産調整の実施
 - ・急な受注対応で残業が増加しないよう、受注予測を立てて、あらかじめ在庫を確保する

取組内容

②社内イベント開催による業務連携の土台づくり

- 4月:お花見・バーベキュー交流会
- 8月:経営方針発表会・懇親会
- 8月:夏休み子ども工作教室・水餃子交流会
- 8月:ボーリング大会・焼肉交流会
- 10月:防災訓練・炊き出し訓練
- 11月:ミカン狩り
- 12月:宿泊付き忘年会



【今回の取組】

社内イベントの開催を増やすことで
ベテラン技術者と若手従業員との
関わりをより密接にする風土づくりを行い
従業員同士の連携の強化を図る



取組内容

③人事評価制度の見直しで能力開発の後押し

*以前の人事制度の課題である

「ジャッジするだけの評価制度」からの脱却を目指す

➡今回の改定内容 「教育制度も併せた人事評価制度へ」

※ 「自らのスキルを高める」ことを狙う

*これまでの基準給＋役割給(社歴によるゼネラリスコース)に加え

➡独自技術を高め続けていくための職務(技能)給の導入を制度化

「競合との差別化と、優秀な人材確保に向けて」



※自らのスキルを高める目標を各人が設定

「2024年私の挑戦」➔ 全員が決意表明を行い、短冊に記入



～決意表明～

- 資格取得や新しい取組、社内の改善などに力を入れる。
- 新しい知識を付ける。
 - ・型についての知識
 - ・加工法、機械についての知識
 - ・客先に関する知識
- 基本情報技術者試験に合格する。
- 1年に1つ資格を取る。
- RPAでできることを探し、仕事の効率化を重視する。
- 英語で日常会話ができるようにする。
- 作業ミス無くし、不良を流出させないために、基本作業を徹底する。
- 何事もプラスにとらえ、困難な仕事にも立ち向かえる強い心を育む。
- 安全第一でケガをしない。技術指導をする。
- いつでも笑顔で怒らない。楽しく仕事をしながら効率アップにつなげる。
- グループ内のコミュニケーション活発化！生産性を上げ、効率よく仕事をする！！
- 日本語の上達のために、毎日、日本語を勉強する時間を増やす。(海外出身の社員)

取組成果

①属人化解消のための施策

・労働時間の短縮により、更なる従業員の健康増進ができ、また空いた時間を開発時間や社員教育の時間に当てられるようになった。

●RPAロボットによる年間効果時間	609時間
●SNS活用による移動時間及び作業時間の短縮 エクセルマクロを活用した見込み棚卸時間短縮 加工治具製作による加工時間短縮	59時間
●金型用工作機械の導入による効果時間	150時間
●木工用レーザー加工機導入による効果時間	416時間
●その他の時短対策(移動時間の短縮) (再生トナー使用のカラーレーザー複合機4台導入)	199時間
合計 1,433時間	

年間効果時間(合計) 609時間

RPAロボットによる効果一覧表



(合計時短効果)1,433時間÷(従業員数)28人÷(1日の就業時間)8時間=(従業員1人当たりの年間時短効果)約6.4日

※引き続き本戦略に取組むことで、年間休日+10日を決定！！

取組成果

②社内イベント開催による業務連携の土台づくり

・グループ内及びグループを超えて、以前より気付いた事を指摘しやすくなったり、分からないことを聞きやすくなり、作業効率UPに繋がった(従業員からの感想)

➡「見えない壁」を取り払うことに成功した

海外事務所のメンバーも含み、グループの枠を超えた交流が活発になってきた



海外事務所メンバーを囲む会 2023年12月23日

③人事評価制度の見直しで能力開発の後押し

●社内にはいないスキルを持ったスペシャリストの採用が可能になった

●能力の高い外部人材を採用でき、定着に繋がった

➡新たな人材の確保ができた(2名)

- ・ IT人材 (DX・GX戦略部 マネージャー)
- ・ 製造現場の経験を持つ営業マン (営業グループ)



DX・GX戦略部マネージャーによる間接業務のRPAによる自動化説明会(総務経理管理部・社長参加)

評価・感想

●評価

2021年からの設備投資の効果、デジタル化による効果が出て、労働時間が短縮され、労働生産性が上がった。

- ・労働時間DOWN:基準年(2019年6月期)の96.3%(2023年7-11月時点)
- ・労働生産性UP:基準年(2019年6月期)の1.42倍(2023年7-11月時点)

●従業員の感想

- ・デジタルツールを上手に活用していると思う。
- ・今後はデジタル活用をメインに工作機械や技術でグループの強みを活かした提案や生産向上になるシステムづくりを行っていきたい。
- ・RPA導入により、8時間かかっていた月末集計が5分でできるようになって驚いた。今後も間接業務のデジタル化を積極的に進めて行きたい。
- ・DX・GX戦略部のマネージャーに相談しながら、作業の自動化、デジタル化を進め、空いた時間に仕事のスキルアップのための勉強をしていきたい。

●経営者の感想

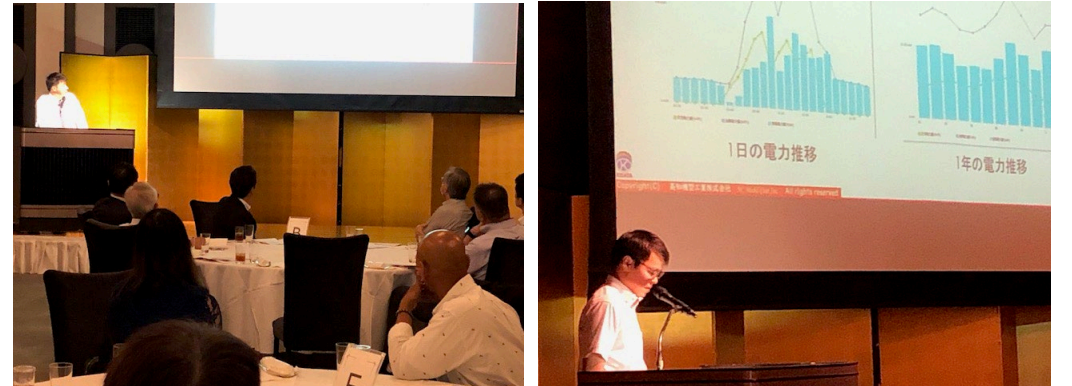
- ・中長期計画のDX戦略の中で、デジタル化、機械化による効果が出てきた。
- ・事業再構築を行い、コロナ禍からの脱却と生産性向上を目指して、細かいマイルストーンを日々達成してきたことで、ワークライフバランスの取れた働き方ができるようになってきた。
- ・近年導入したRPAにより、直接・間接業務のデジタル化をさらに進め、年間休日プラス5日を目指すべく、働き方改革を推進していく。

今後の取組予定

- ①社内イベントで風通しの良い職場環境を維持することで社内連携を強化する
- ②引き続き業務のデジタル化を進めていくことで更なる属人化の解消を行う
- ③現在見直し中の人事評価制度と教育システムをブラッシュアップしていく

これらにより、人材育成のリードタイムも
圧縮し、企業の競争力をアップさせる!!

●現在は、5カ年の経営戦略・2023年度下期の計画に沿って
実行中。2024年度の年次計画にも「働き方改革推進計画」を
入れて実行していく



(写真は今年度当初の経営方針発表会風景・6月決算)

生産性向上とワークライフバランスの取れた働き方で、
年間休日+10日を決定!(2024年4月1日から実施)
さらに生産性を向上させ、プラス5日を目指す!!

従業員の生活の充実と企業の未来への投資を両立させる取組を続けていく

ご清聴ありがとうございました。

高知機型工業株式会社

